



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月9日

上場会社名 ドリームベッド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7791 URL <https://www.dreambed.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 克己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 峰岡 道男 TEL 082 (271) 4201
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,331	2.3	85	△53.7	83	△59.9	53	△62.5
2022年3月期第1四半期	2,278	—	184	—	208	—	142	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.92	—
2022年3月期第1四半期	42.11	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。これにより、2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,370	3,715	44.4
2022年3月期	8,260	3,802	46.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,715百万円 2022年3月期 3,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,750	4.3	294	29.9	286	12.4	198	20.0	47.68
通期	10,100	6.9	750	15.7	732	8.3	505	13.2	121.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	4,152,820株	2022年3月期	4,152,820株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	49,500株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	4,129,807株	2022年3月期1Q	3,377,875株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会開催及び決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載いたします。

(<https://ir.dreambed.co.jp/ja/ir.html>)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、政府の経済対策やワクチン接種の進展等により、一部に持ち直しの動きがあるものの感染の再拡大も見られ、足元では急速な円安・ドル高が進行し、景気回復の足取りは鈍いものとなりました。また、世界経済においても、ウクライナ情勢の長期化、燃料価格の高騰、物価上昇等の要因により、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境下において、当社の各販売経路別の状況は次のとおりです。

前年度から続いておりました巣ごもり需要と言われている購買意欲の高まりが一巡した様相を呈しており、一般「家具販売店向け」においては得意先家具販売店への来客数が減少している要因から、ベッド関連売上が前年同四半期累計期間を下回っております。一方で高価格帯向けソファの「ligne roset(リーン・ロゼ)」商品の売上が順調に推移するとともに、昨年リニューアルした東京ショールームやリーン・ロゼ福岡店等の効果もあり「ショップ/ショールーム」向け売上が前年同四半期累計期間を大幅に上回っております。

「商業施設向け」もホテル向け需要の本格的な回復にはなお時間を要する見込みですが、前年同四半期累計期間を上回っております。「ハウスメーカー向け」は前第3四半期より催事の戻りが一部ありましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う中止や延期が引き続き生じております。

このような状況の中、当社は商品開発を強化し、当社オリジナルブランドであるドリームベッドブランドの拡販のため、細い線径によるソフトな感触にクッション性をアップしたマットレス「Right Dream(ライト ドリーム)」、SDGs対応商品として廃棄ペットボトル100%使用した再生ポリエステル糸の生地使用のほか、解体しやすいマットレス「Dream Refine(ドリームリファイン)」の開発を行い発表しました(当第3四半期発売予定)。

また、新商品として、サータトラディションシリーズ最高峰モデル「Serta Tradition Royal(サータトラディションロイヤル)」、宝塚ホテルとのコラボレーション企画モデルの販売を開始しました。

販売促進では全国の主要家具販売店における体感機能や展示ラインを強化した「Serta Sleep Site(サータスリープサイト)」を展開することとし、第1号店を開設いたしました。

これら施策に取り組むとともに、原材料の高騰に対しては必要に応じた売値上げによる対応を進めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高2,331,287千円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益85,238千円(同53.7%減)、経常利益83,460千円(同59.9%減)、四半期純利益53,348千円(同62.5%減)となりました。

また、当社はホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,886,514千円となり、前事業年度末に比べ457,558千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少426,618千円、売掛金の減少196,326千円によるものであります。一方で、受取手形の増加51,311千円等がありました。現金及び預金の減少の主な要因は八千代第一工場の新設及び増改築に511,434千円を充当したことであり、また、固定資産は4,483,831千円となり、前事業年度末に比べ567,543千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定の増加570,078千円、その他の増加25,469千円等によるものであります。建設仮勘定の増加の主な要因は八千代第一工場の新設及び増改築に係る511,434千円であり、その他の増加の主な要因は名古屋ショールーム(2022年8月開設予定)に係る敷金25,545千円であり、一方で、機械及び装置(純額)の減少14,889千円、建物(純額)の減少14,446千円がありました。これらは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は8,370,345千円となり、前事業年度末に比べ109,984千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は3,948,613千円となり、前事業年度末に比べ229,452千円増加いたしました。これは主に支払手形の増加106,834千円、賞与引当金の増加87,468千円及び短期借入金の増加70,000千円等によるものであります。一方で、未払法人税等の減少75,873千円、未払金の減少19,952千円及び買掛金の減少29,093千円がありました。また、固定負債は705,875千円となり、前事業年度末に比べ32,750千円減少いたしました。これは主にその他の減少31,520千円等によるものであります。その他の減少の要因は未払金への振替31,520千円であり、

この結果、負債合計は4,654,489千円となり、前事業年度末に比べ196,702千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は3,715,856千円となり、前事業年度末に比べ86,717千円減少いたしました。これは主に四半期純利益53,348千円を計上したものの、配当金の支払い103,820千円、自己株式の取得35,529千円により減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.4%（前事業年度末は46.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想について、前第2四半期と比して東京ショールーム開設に伴う広告宣伝費支出が本期はないこと、また原材料高騰の影響には売値上げにて対応することから、2022年5月12日「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,099,040	672,421
受取手形	931,586	982,897
売掛金	1,343,306	1,146,980
商品及び製品	611,254	652,701
仕掛品	15,530	17,325
原材料及び貯蔵品	253,657	290,419
前渡金	38,296	33,517
前払費用	66,604	90,186
その他	2,897	16,864
貸倒引当金	△18,100	△16,800
流動資産合計	4,344,072	3,886,514
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	509,649	495,202
構築物(純額)	14,405	13,752
機械及び装置(純額)	370,908	356,019
車両運搬具(純額)	2,241	3,362
工具、器具及び備品(純額)	51,384	51,772
土地	2,109,116	2,109,116
リース資産(純額)	7,462	6,546
建設仮勘定	520,284	1,090,362
有形固定資産合計	3,585,452	4,126,134
無形固定資産		
ソフトウェア	48,242	45,065
その他	237	237
無形固定資産合計	48,479	45,302
投資その他の資産		
投資有価証券	75,821	75,091
出資金	1,200	1,200
前払年金費用	33,344	38,644
その他	171,990	197,459
投資その他の資産合計	282,356	312,395
固定資産合計	3,916,287	4,483,831
資産合計	8,260,360	8,370,345

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	762,219	869,054
買掛金	330,687	301,593
短期借入金	1,295,000	1,365,000
1年内返済予定の長期借入金	340,000	340,000
未払金	444,723	424,771
未払費用	54,690	51,307
未払法人税等	116,130	40,256
前受金	105,097	122,748
預り金	29,240	41,030
賞与引当金	173,852	261,320
製品保証引当金	28,300	28,500
リース債務	3,664	3,664
その他	35,554	99,364
流動負債合計	3,719,160	3,948,613
固定負債		
長期借入金	340,000	340,000
リース債務	3,797	2,881
繰延税金負債	297,522	297,208
その他	97,306	65,786
固定負債合計	738,625	705,875
負債合計	4,457,786	4,654,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,715	785,715
資本剰余金	715,725	715,725
利益剰余金	2,312,574	2,262,102
自己株式	—	△35,529
株主資本合計	3,814,014	3,728,013
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,440	△12,156
評価・換算差額等合計	△11,440	△12,156
純資産合計	3,802,574	3,715,856
負債純資産合計	8,260,360	8,370,345

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,278,713	2,331,287
売上原価	1,087,373	1,157,308
売上総利益	1,191,340	1,173,978
販売費及び一般管理費	1,007,082	1,088,740
営業利益	184,257	85,238
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1,198	1,261
保険解約返戻金	55,640	—
その他	850	1,139
営業外収益合計	57,690	2,401
営業外費用		
支払利息	3,596	3,254
為替差損	21	675
株式公開費用	28,605	—
その他	1,560	249
営業外費用合計	33,784	4,179
経常利益	208,163	83,460
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	1,787	—
特別損失合計	1,787	0
税引前四半期純利益	206,376	83,460
法人税等	64,123	30,112
四半期純利益	142,253	53,348

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式49,500株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が35,529千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が35,529千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大については、現時点では当社の会計上の見積りには重要な影響がないと判断しており、前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済及び企業活動への影響によっては、見積りと異なる場合があります。財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。